

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月03日

計画の名称	瀬戸内市宅地耐震化推進事業												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和04年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	瀬戸内市												
計画の目標	第一次スクリーニングで抽出した大規模盛土造成地(市内8箇所)について全箇所の第二次スクリーニング計画策定を行い、宅地耐震化事業を推進し、災害に強いまちづくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5	A	5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度	令和4年度	令和4年度
1	瀬戸内市全域において、大規模盛土造成地の現地踏査・優先度評価を実施し、第二次スクリーニング計画を策定する。 大規模盛土全箇所に対する第二次スクリーニング計画の策定(8箇所)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	瀬戸内市	直接	瀬戸内市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画の 策定	瀬戸内市						5	-	
											小計						5		
											合計						5		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
瀬戸内市建築住宅課により事後評価を実施	令和5年9月
	公表の方法
	瀬戸内市ホームページ掲載により公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、基礎資料をもとに現地踏査、宅地擁壁の健全度判定調査、優先度評価を実施し、第二次スクリーニング計画を策定し、安心して暮らせる地域づくりに寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
新たな社会資本総合整備計画（大規模盛土造成地における宅地耐震化の推進（防災・安全））により、引き続き調査を進める予定としている。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	大規模盛土全箇所に対する第二次スクリーニング計画の策定（8箇所）	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%